

第2章 平成22年度（2010年度）の実施状況

●子どもと本をつなぐ地域交流会

パート1 平成22年（2010年）12月16日（木）千里図書館

- ・参加者 保健師・保育士・行政職員・図書館司書・学校司書・おはなしボランティア・子ども文庫世話人（合計30名の参加）
- ・内容 第1期実施計画を平成21年度に終えたこの機会に、子どもや子どもに関わる施設（小・中学校の学校図書館どちらか）の見学を実施、その後交流の場をもつ
- ・見学先 東丘小学校・第八中学校
(学校司書の方より学校図書館の果たす役割などについて解説。)

中学校の学校図書館見学



小学校の学校図書館見学



千里図書館での交流会（学校司書からの報告）

～学校司書からの報告～

ワーキンググループのメンバーでもある学校司書からは、学校へ公共図書館から支援があること、先生と司書が授業で連携を進めていること、学校司書がいることで生徒のプライバシーに配慮できているなど、さらに詳しいお話を聞くことができました。

- ・学校図書館の見学後の感想・意見等
 - 「フローリングで落ち着いた感じがしてよかった」
 - 「本の展示の工夫が良い」
 - 「同じ市の図書館でも改修できているところとそうでないところでは差がある」
 - 「男女関係なくほっとできる場所」
 - 「学校司書の方の細やかな配慮がよくわかった」
 - 「学校に子どもが通っていても実際に学校図書館を見学させてもらう機会がないので良い経験になった」
 - 「当日の学校司書の方に聞きたいことを前もって集約しておくなど、短時間においても有効な交流会とするため、進行を綿密に計画しておくべきだった」

パート2 平成23年（2011年）1月21日（金）すてっぷ 視聴覚室にて

- ・参加者 保育士・行政職員・関係機関職員・図書館司書・学校司書・おはなしボランティア・子ども文庫世話人・大学生（合計33名の参加）
- ・内容 第1期実施計画を平成21年度に終えたこの機会に、子どもや子どもに関わる施設の見学を実施、その後交流の場をもつ
- ・見学先 Aコース：すてっぷ、とよなか国際交流協会
Bコース：すこやかプラザ内の中部保健センター、子育て支援センターほっぺ、社会福祉協議会等（事前に4か月児健診の見学も実施）



すてっぷの見学

国際交流センターの見学



- ・ Aコース（すてっぷ、とよなか国際交流協会）での感想・意見等
 - 「チラシをたくさんまくより、こういう施設があるということを近所の外国人に伝えるやり方もある」
 - 「これから活動したい人にとって、それぞれのスペースで何をしているのかわかる」

- ・ Bコース（すこやかプラザ）での感想・意見等
 - （4か月児健診の見学で）「図書館司書が講話で赤ちゃんに絵本の『いないいないばあ』を読み聞かせした時、赤ちゃんがじーっと絵本を見ており絵本の力を感じた」
 - 「4か月児健診は初めての健診でドキドキしながら出かけ、日頃赤ちゃんと2人きりで子育てをしている中、絵本をきっかけに大人とおはなしできるのは保護者にとってありがたいと思う」
 - 「プレイルームに多くの親子が来ており、保護者同士のつながりが薄れる中、こういう場があるのはいい」
 - 「もう少し子どもに関わる事業にしぼって話を聞きたかった」
 - 「こういった施設での取り組みの現状をどこまで発信できているのか」

- ・ 全体を通しての感想・意見等
 - 「様々な活動を行っていらっしゃる方々と交流し、意見をお聞きすることができてとても勉強になった」
 - （全般的に見学と移動に時間がかかったため）「話し合いの時間が少ない」

すこやかプラザでの見学



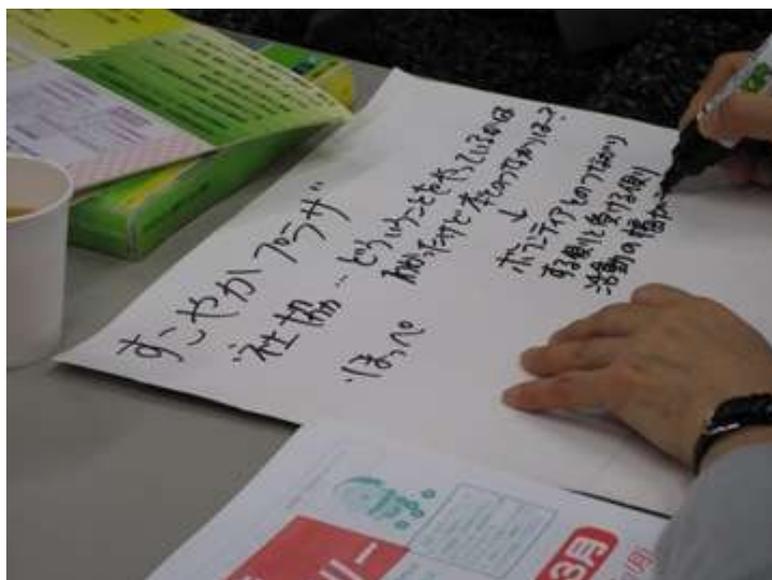
すてっぷでの交流の様子

平成22年度（2010年度）まとめ

平成22（2010）年度の地域交流会では交流会の中で学校図書館や子どもに関わる施設を見学し、その後見学した内容を参加者間で共有するとともに、学校図書館やこれらの施設をいかしてどのように読書活動をすすめていくのか、現状における課題や、課題を解決するためのさまざまなアイデアを提案していただきました。本年度は実際に子どもや子どもの読書に関わる施設見学を通して、蔵書の状況や取り組みなどを直接見ることで、より具体的な子ども読書活動について知っていただく機会となりました。

また読み聞かせなどに関わる市民のほか、市の関連部局・関連機関の職員や学校司書、大学生など多様な立場からの参加を得られたことから、第1期の実施計画を終了したこの機会に、地域における子ども読書活動のイメージを参加者で共有することができました。

一方、交流会開催の中で運営上のいくつかの課題が明らかになりました。アンケートの中で多くいただいた意見は見学や移動の時間が必要になったため、充分討議の時間がとれなかったというものでした。また参加者が別々の施設を見学した後に情報交流を行った場合、実際に見学していない施設についての話を聞いてもイメージがつかみにくいといったご意見もありました。これらの点をふまえ、地域で子どもと本に関わる関係者が交流しながら情報を共有し、地域での活動を活性化できるような場を今後も継続的にもつことが必要と考えています。



平成22(2010)年度子どもと本をつなぐ地域交流会

	パート1		パート2	
日時	平成22年(2010年) 12月16日		平成23年(2011年) 1月21日	
参加人数(うち運営に関わったWGメンバー)	30	(8)	37	(14)
見学施設	小学校学校図書館	中学校学校図書館	すてっぷ、とよなか国際交流センター	すこやかプラザ
参加者のおもな構成	ボランティアグループ10、子ども文庫3、学校司書など		ボランティアグループ11、子ども文庫2、大学生など	
当日の内容	①施設見学②グループ討議・発表		①施設見学②グループ討議・発表 (事前に4か月児健診の見学あり、4名参加)	
討議のテーマ	施設見学をして、「印象に残ったところ」「疑問に思ったところ」をグループごとに出し合い、発表する。			
当日のアンケートより	子どもたちにとって一番身近である学校図書館を見学できてよかった。いろいろなところで活動されている方とお話できたのも自分の活動について考えるチャンスになると思った。	(施設を)目で見て雰囲気を感じることができたので、図書館がとてもしっかりしていることや課題も具体的に理解できたかと思えます。	交流会の参加は今回がはじめてだったのですが、様々な活動を行っていらっしゃる方々と交流し、意見をお聞きすることができてとても勉強になりました。	読書活動のボランティアをされている方の活動内容や活動に対する思いなどを意見しあう機会があればと思いました。
	学校に行ってからどういスケジュールで話し合うか、質問するかなど事前にタイムスケジュールが組んであると、もっと最後の質問がでたかなと思いました。	休み時間の間に図書室まで行くのに時間がかかるそうで、授業や読書にふれる時間を学校にいる時間内に組み込んでいける取組みが重要だと感じました。	話し合いの時間が短いように思う。	たくさんの方が気軽に参加できる講演会などがあるとよいと思います。子どもも連れていけるものもあるとありがたいです。
	20分休憩に子どもたちが(図書館を)利用する様子をみたかった。こんな見学が実現できる関係性ができているのは貴重なことだし、これまでの様々な取組みがあってこそこのことだと思う。せっかくの機会を最大限にいかすために、あともう少し綿密な準備が必要だったのでは。	小中学校図書館が見学ができてよかったです。中学校で国語教科の時にもっと図書館を利用しては？	(WGより)広報やチラシ、施設を見るだけと違い、それぞれの施設の思いやねらいを聞きつつその活動を見るのとは理解がまったく違いくわかりました。様々な施設でこのような交流会が行われるといいと思います(できればもっと気軽にふらっと参加できる形もいいかも)	(WGより)交流会に初参加、2回目の人と何度もきている人、WGのメンバーとの求めるものが違うのかなと感じました。
	小学生と中学生の子どもがいても実際の学校図書館を見学させてもらう機会はなかなかないので、よい経験をさせていただきました。	第1期(実施計画)の課題を一步一步ふみ固めていける第2期であつたらいいと思います。	(WGより)見学場所を2カ所にわけてありましたが、理由を知りたい。参加人数もそれほど多くなく、1カ所でもよかったのでは。そのほうが後の交流会の時間に余裕ができたのでは。	(WGより)今回出た問題点、情報の発信などを深めていけたらと思う。

WG：子ども読書活動推進連絡協議会ワーキンググループ委員

● 「とよなかこども読書マップ」

子どもたちが身近なところで本に親しめるよう、市内で本が借りられるところやおはなし会を実施している施設や場所などの情報を集めて「とよなか こども読書マップ」を作成しました。子ども文庫や保育園、幼稚園など52カ所の施設や場所を掲載しています。平成22(2010)年度は1万部を発行して、1歳6か月児健診や子育て支援センター、幼児教育支援センターたんぽぽ等の子どもに関わる市内の施設で配布しました。

● 領域ごとの取り組み

領域ごとの全体の事業数と新規事業数とともに、その実施事業数の取り組み状況を一覧にしたものです。(詳しくは14ページ～51ページをご覧ください)

事業の取り組み状況

	全体の事業数	平成22(2010)年度 実施事業数
1 家庭・地域	19	19
2 地域の公共施設	34	30
3 保育所(園)・幼稚園	22	21
4 学校	20	20
5 障害のある子どもや外国人の子ども	27	26
6 市立図書館	38	37
計	160	153

平成22年度からの新規事業が2事業あり

(豊中市子ども読書活動推進計画第2期実施計画に未掲載)